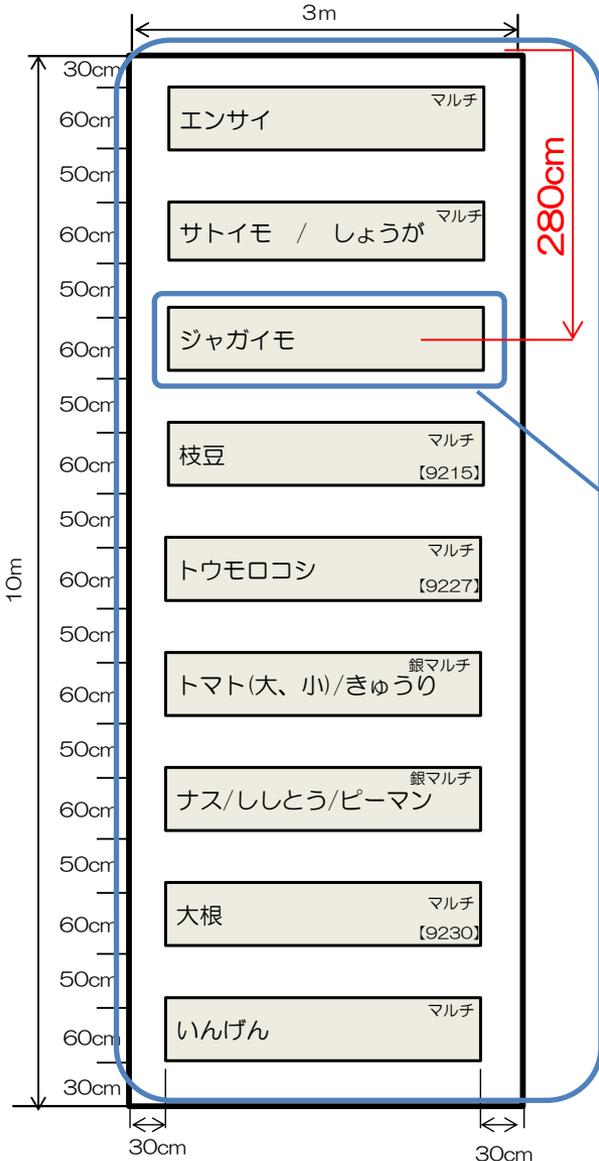


注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

[割当区画] → 北



【今回のポイント】

土づくりの基本、肥料の役割を学びます。

□区画抽選

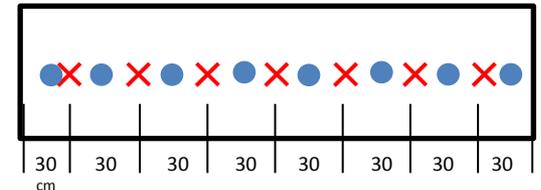
講習日に抽選で決定します。

□畑づくり

- 堆肥撒き 各区画2袋(約40kg)
 - 石灰撒き 各区画3kg (ジャガイモ区画以外)
- 施肥した後、鍬(くわ)でよく混ざるように耕してください。

□ジャガイモの植付け

- 種イモ切り(1/2)
- ※芽があるところを残す
- 植付け(30cm間隔) → ×部
- 施肥(配合肥料) 1杯
- ●部に均等に撒く



※連作障害を防ぐため、作付けの位置を昨年と変更しています。
 詳細は、昨年度資料を確認ください。
 昨年度資料は、農園ホームページで確認できます。

「品種の紹介」

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

キタアカリ



北海道の農業試験場で昭和50年に誕生しました。「男爵薯」を基盤として、ジャガイモシストセンチュウに抵抗性のある「ツニカ」と掛け合わせて作り出され、昭和62年に登録された品種です。近年人気が上がっている品種です。サラダ、皮つきで蒸したり、粉ふきとしたり、また、スープなどのそう菜に向いています。煮くずれしやすいので長時間煮込む料理には不適です。電子レンジ加熱は香りを生かすことができ煮くずれの心配もないのでキタアカリに適した調理法です。バイクドポテト、ポテトサラダに適します。(引用：日本いも類研究会HP)

「各種肥料について」

第一回講習では「畑づくり」では堆肥/石灰撒き、「ジャガイモ植え」で配合肥料撒きといった作業があります。同じように感じるかと思いますが、それぞれ目的が異なります。

「畑づくり」の堆肥/石灰撒きは、**土壌を調整する**ことが主な目的です。

- 堆肥：土の保肥性/保水性/通気性等を高めたり、土中の微生物の活動を活発にすることで、土中の環境を良くする優れた「土壌改良材」としての働きをします。
- 石灰：土壌酸度を酸性→アルカリ性に変え、野菜が育ちやすいような酸度に調整します。

「ジャガイモ植え」の配合肥料撒きは、**野菜が成長するのに必要な栄養分を与える**ことが目的です。野菜に必要な三要素(窒素：N、リン：P、カリ：K)を与えます。

どちらも畑の状態により適正量が異なるため、今回の講習で示した量がそのまま他の畑(市民農園等)で使えるというわけではありません。ご注意ください。

なお、第一回講習会で使う肥料は以下の通りです。

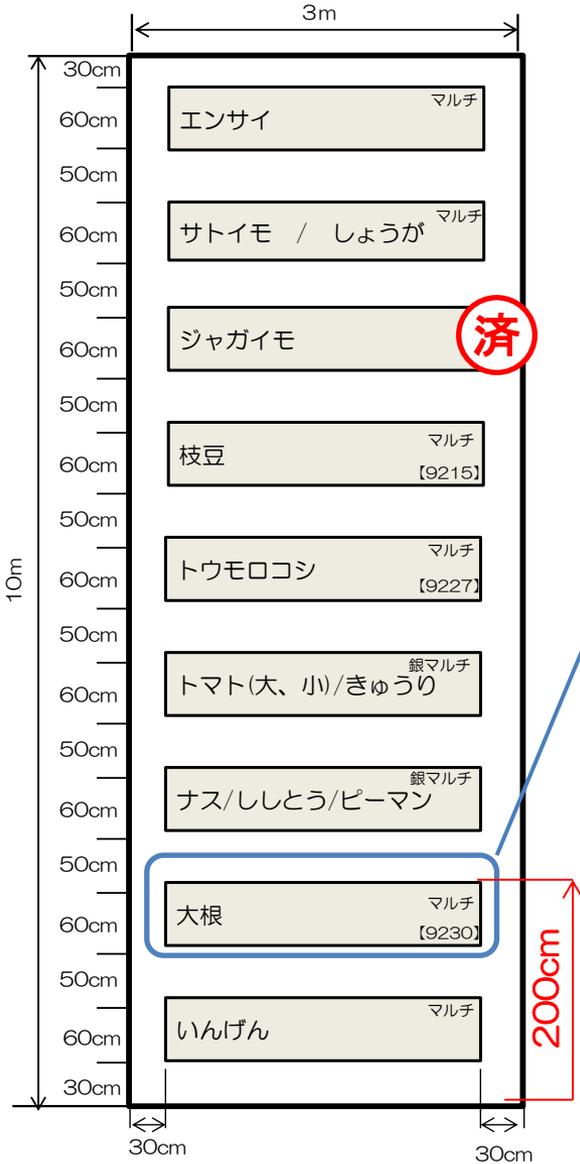
- 堆肥：和洋の堆肥
- 石灰：有機石灰(カルメイト)、牡蠣殻が主成分の有機石灰です
- 配合肥料：野菜名人(N9-P11-K6)

※各要素の詳細な効用については、昨年度お配りした「肥料の基礎知識」をお読みください。

新規の方は、第一回資料とともにお渡しします。

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

[割当区画] → 北

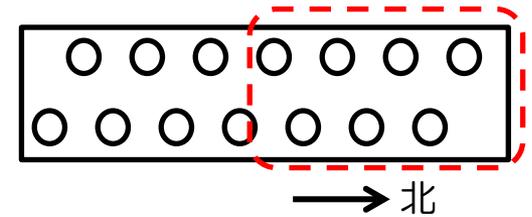


【今回のポイント】

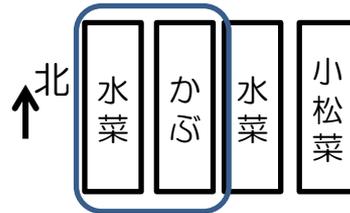
種の撒き方、マルチの引き方を学びます
 マルチ引きは、年間を通じ何度も行います。
 是非マスターしてください。

□大根の種まき

- ・IB化成、アツミン 各1杯
- ・マルチ9230を引く
- ・種まき(半分/北側)
 ※1穴4粒

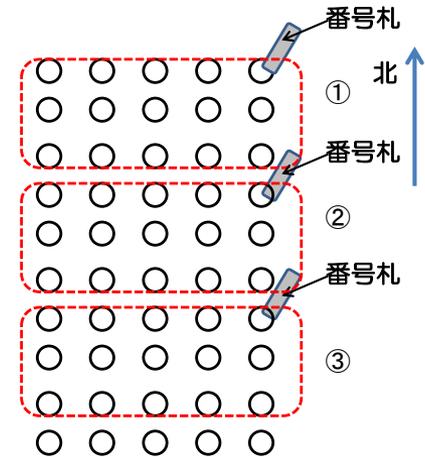


[共有区画(サービス区画)]



□水菜、かぶ

- ・種まき 各15穴
- ※1穴 約5粒
- バラけるように撒いてください



注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

「マルチとは」

マルチとは正式には「マルチング」と言い、土の表面をポリフィルム等で覆う作業を意味します。マルチを行う効果は、以下の通りです。

- ①地温を調整する ②土壌水分を保持する(乾燥防止)
- ③雑草の防除 ④土の跳ね返りを防ぐ(病害防除)

色も、黒/透明/シルバー等があり、それぞれ以下の効果が優れているという特徴があります。

黒：雑草防除 / 透明：地温調整 / シルバー：アブラムシ防除

当農園では雑草防除の効果が高い、黒のポリフィルムを多く使用していますが、トマト/ナスを植えつけるところのみ、アブラムシ防除のため、銀(シルバー)マルチを使用します。

ちなみに、マルチ9230の「9230」とは、マルチの種類を示しており、9→95cm幅/2→2列/30→30cm間隔を意味しております。

カブや水菜使う9515は、95cm幅/5列/15cmということになります。

当講習では、マルチ→穴なしマルチ、マルチ9×××→穴ありマルチと呼びます。

2種類以上のマルチ引きがある場合、間違えないように注意してください。

「化成8号とは」

肥料の必須三要素である、窒素(N)、リン酸(P)、カリウム(K)がそれぞれ8%ずつ含まれた化学肥料です。8-8-8と表記されます。

即応性で、野菜、果樹等、様々な作物の元肥、追肥に広く使われています。

三要素の役割については、昨年(新規の方は前回)お配りした「肥料の基礎知識」をお読みください。

※紛失された方は、HPよりダウンロードできます。もしダウンロードできない方はご一報ください。

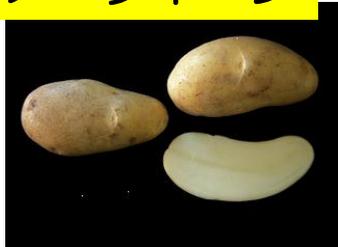
補足) 今回の講習では、効果をより長く持たせるため、IB化成(12-12-12)を使用しました。

また、地力増強材としてアズミンを使用しております。詳細は第3回講習会資料をご覧ください。

「品種の紹介」

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

メイクイーン



原産国はイギリス。以下のような特徴がある。

- 目が浅く剥皮しやすい。
- 煮くずれしにくく煮物に適する。
- 食味が良く、特に貯蔵後は甘味を増す。
- 病気に比較的弱い。

(引用：日本いも類研究会HP)

青首大根



”耐病総太り”という品種で現在では**生産量の95%を占めます**。大根の上部が地上に出て緑色になるという特徴を持つ、**宮重**(みやしげ)大根の改良型。辛味が弱く、煮崩れしにくいので最近の消費者からは好まれています。また、上部が地上に出るという特性のために**「収穫時に引き抜くのが楽**」(練馬大根は40kgの力でないと引き抜けませんが、青首は10kgで抜ける)、という生産者の利点、**「上から下まで同じ太さなので扱いやすい**」という流通業者の利点もあり、生産者・流通業者・消費者の3者の利害関係が一致して市場独占に拍車をかけました。また一年中採れ病気にも強いという特徴もあります。 出展：食材事典美味探求：上田 泰久氏 <http://www2.odn.ne.jp/shokuzai/Daikon.htm>

写真：タキイ種苗HP

水菜



今回の講習では、(株)アタリヤ農園の水菜を使用します

カブ



今回の講習では、(株)アタリヤ農園のカブを使用します
※小～中型のカブです

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

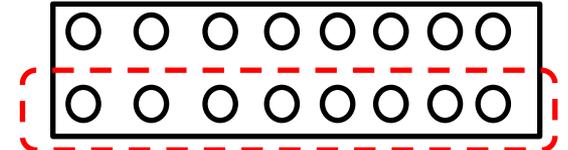


【今回のポイント】

異なる2種類のマルチを引きます。注意してください。
鳥害防止のため、枝豆とトウモロコシの種は「ポット」にまき、発芽後該当場所に植え換えます。

□枝豆

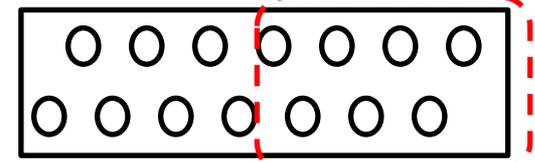
- 野菜名人、アツミン 各1杯
- マルチ9215を引く
- 種まき(ポット)、詳細は次ページ



発芽後に植え換え → 北

□トウモロコシの種まき

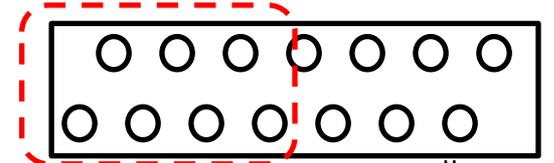
- 野菜名人、アツミン 各1杯
- マルチ9227を引く
- 種まき(連結ポット) 次ページ参照



発芽後に植え換え → 北

□大根の種まき

- 種まき(残り半分)
- 発芽していない箇所の補植
- ※1穴4粒



→ 北

【共有区画(サービス区画)】

植付済



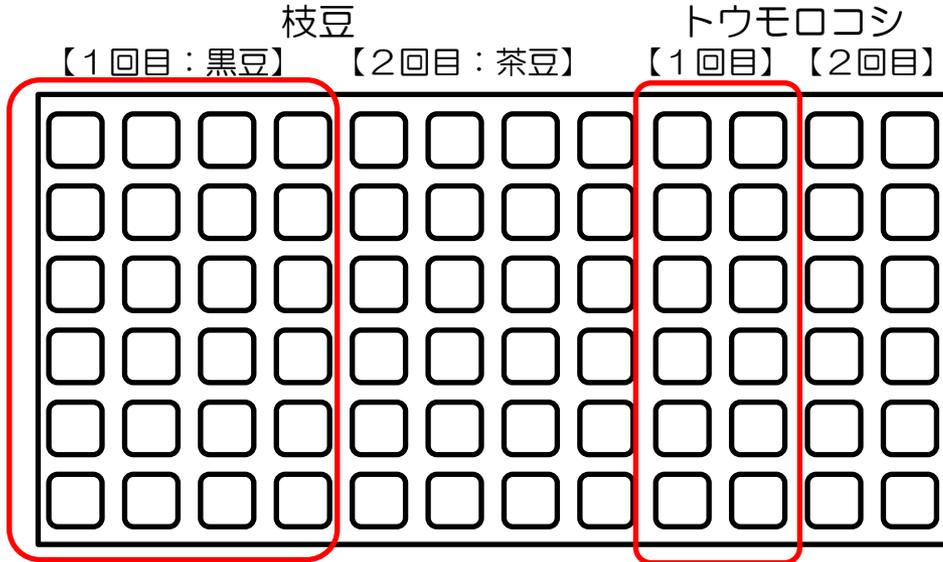
□水菜、小松菜

- 種まき 各15穴
- ※1穴 約5粒
- バラけるように撒いてください

【トウモロコシ、枝豆の種まき】

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

鳥害防止のため、今回は空中ポットレストレーに種まきを行います。



□トウモロコシ、枝豆の種植え

- ・培養土(与作-N15)を入れる
- ・枝豆/トウモロコシの種を、該当箇所に各穴1個ずつまきます
- ※場所を間違えないよう注意してください

注) 植え換え時期は、種まき後2週間後程度となります。4/28～5/6と講習会を開催しない時期と重なりますが、ご都合のよい時期に来園して、植え換えるようにしてください。
植え替えのタイミングは、HP、メール、畑に設置する掲示板でお知らせする予定です。

【空中ポットレストレー】

トレー内にポットを配列し、ポットの側に縦2ミリのスリットを全面に施し、底部を網目構造とし、ポット底部と接地面との間に35ミリの空間を設けた育苗トレー

- ・メリット：根巻きが少なく、根腐れがしにくい
- ・デメリット：乾燥しやすく、こまめな手入れが必要
→農園側で管理します



(株) 阪中緑化資材HP引用

「品種の紹介」

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

青首大根

同じ青首大根ですが、1回目/2回目で品種を分けました。収穫後比べてみてください



1回目
耐病総太り
(タキイ種苗)



2回目
献夏青首
(サカタのタネ)

トウモロコシ



昨年度と同様、味来(みらい)という品種を植えます。通常のとうもろこしよりもサイズが小ぶりですが、甘味がとても強いのが特徴です。生でそのまま食べられることもできます。他のトウモロコシに比べて、手入れが比較的大変な品種です。

小松菜



昨年度と同様、サカタのタネの小松菜を撒きます

枝豆



今年度は「茶豆」と「黒豆」の2種類の枝豆を植えます。本日の講習では「黒豆」を植えます。品種名：黒玉すだれ/日本農林社 極早生性を合わせ持った黒枝豆で比較的栽培しやすいことから、家庭菜園向けの品種です。

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

「肥料の紹介」

化成肥料（IB化成）



窒素、リン酸、カリウムが各12% 化成8号に比べてやや遅効性だが、持続性がある。

配合肥料（野菜名人）



野菜用に設計された配合肥料 有機質肥料をバランスよく配合している。

土壌改良材（アツミン）



腐植酸を主成分とした腐植酸苦土肥料です。

以下の目的で使用します。

- 畑に腐植酸を付加して、土壌バランスを整える。
- 肥料成分の効果を高める
- 作物の細根が増え、根張りがよくなる。

※腐植は、土壌中に存在する黒い有機物のことで、有機物中に含まれる土づくりに有効な成分が腐植酸です

詳しくはデンカアツミン(株)のHPをご覧ください。

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

【割当区画】 → 北



【今回のポイント】

追肥は使う肥料が異なるので、注意してください。
 余裕のある方は、すべてのマルチを引いてください。

□エンサイの種まき

- ・野菜名人、アツミン 各1杯
- ・マルチ(穴なし)をひく
- ・種まき (7か所、1穴3粒)



□サトイモ/しょうが 共通

- ・野菜名人、アツミン 各1杯
- ・マルチ(穴なし)をひく

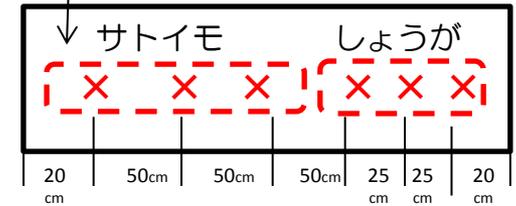
□サトイモの種イモ植え

- ・種イモ植え (3か所、各1個)

□しょうがの種植え

- ・種植え (3か所、各1個)

マルチに穴を空けて植える

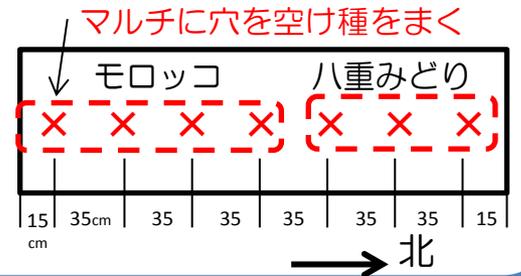


※種の入荷が間に合わなければ、植付は次回講習会で行います。

□ジャガイモの追肥 化成8号 1杯

□いんげんの種まき

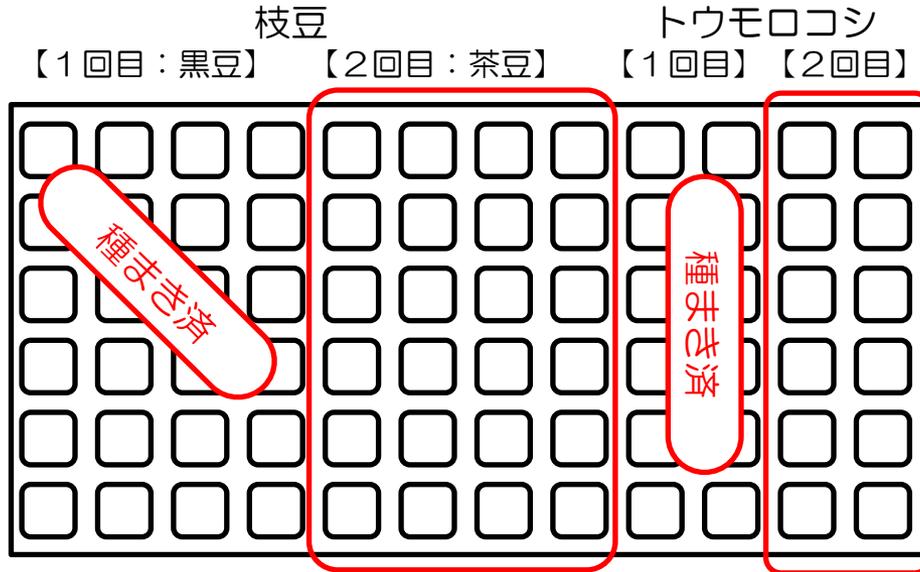
- ・野菜名人、アツミン 各1杯
- ・マルチに穴を空ける
- ・種まき (7か所、1穴3粒)



【トウモロコシ、枝豆の種まき】

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

鳥害防止のため、空中ポットレストレーに種まきを行います。



- トウモロコシ、枝豆の種植え
- ・枝豆/トウモロコシの種を、該当箇所に各穴1個ずつまきます
- ※数、場所を間違えないよう注意してください

注) 植え換え時期は、種まき後大体2～3週間後となります。植付最適時期が4/28～5/12の全体講習会の休止時期と重なるため、各自ご都合のよい時期に来園し、植え換えていただくことになると思います。

植え換えるタイミングは、HP、メール、もしくは農園農具置き場に設置する掲示板でお知らせします。

園主不在時でも作業は可能ですが、ポットからの取り出し方が難しいので、できれば来園前に一度電話確認していただき、直接指導を受けるのがよいかと思います。

植付場所は、Page4に示します。

「品種の紹介」

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

エンサイ



【特長】

中国南部、東南アジアで広く栽培されています。サツマイモの葉を細長くした形で、真夏に茎と葉を収穫します。炒め物や中華風おひたしに利用する健康野菜です。空芯菜(くうしんさい)とも呼ばれています。

【収穫・料理法】

草丈が20cmのころ、株元の5~6節を残してやわらかい部分を収穫します。摘みとった下からわき芽が出てくるので、また収穫できます。昨年7月~11月と長期間収穫できました。油いため、おひたし、ゴマあえ、スープ、天ぷら、汁の実などに利用します。ビタミン、カルシウム、鉄分を豊富に含みます。

枝豆



品種名：湯あがり娘
/カネコ種苗(株)

茶豆特有の芳香を持ち、甘みがある品種。

中早生種で、3粒莢が多く、クズが少ないのが特徴。

いんげん



今年度は2種類のつるなしいんげんを植えます。

- つるなしモロッコ
/タキイ種苗
- 八重みどり2号
/日本農林社

体験農園(小牧園)講習会 平成24年度 4回目 2012/4/21(土)、22(日)

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

【トウモロコシ、枝豆の植え替え作業 4/28~5/12】
種類や時期を間違えないようにご注意ください
来園時に本資料をお持ちください。



□枝豆 (1回目)

予想時期 4/28~5/5

→ 北

□枝豆 (2回目)

予想時期 5/5/~5/12

→ 北

□トウモロコシ(1回目)

予想時期 4/28~5/5

→ 北

□トウモロコシ(2回目)

予想時期 5/5/~5/12

→ 北

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

[割当区画] → 北



【マルチひき】

第4回講習会中(余裕があれば)、もしくは1回目のトウモロコシ、枝豆植え替え時(4/28~5/6)に実施するようにしてください。

□ トマト/きゅうりの準備

- ・ I B化成、アズミン1杯づつ。
- ・ 銀色ラインのあるマルチをひく(銀線がある方が表面)

□ ナス/ししとう/ピーマンの準備

- ・ I B化成、アズミン1杯づつ。
- ・ 銀色ラインのあるマルチをひく(銀線がある方が表面)

銀マルチ：ムシコン/シーアイ化成(株)



昆虫の色彩反応を応用した、新しいマルチフィルムです。表面には、銀色のスジを入れてあります。アブラムシ等の被害を抑えます。



□枝豆
・植え替え

5/5~5/13

4/28~5/3

→ 北

□トウモロコシ
・植え替え

5/5~5/13 4/28~5/3

→ 北

□トマト
・支柱立て
※詳細は別途お配りする資料を確認ください
・マルチに穴を空ける
※支柱から10cm程離す
・植付け (場所は直接指示します)
中玉×2 (北側)
小玉×2 (南側)
・植付け後紐で縛る (誘引)
※別途お配りする資料を確認ください

マルチに穴を空け、植付けする

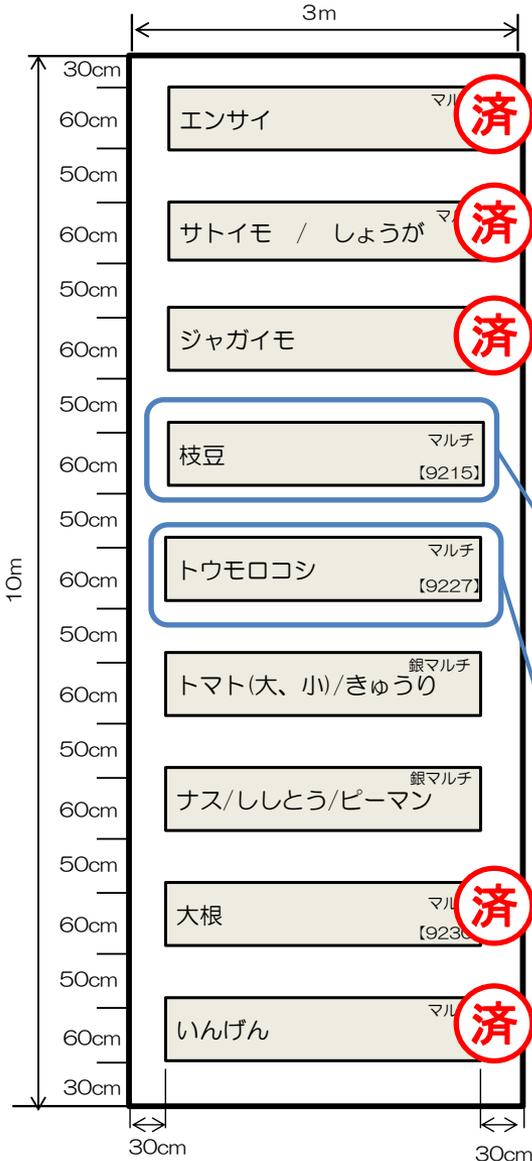
トマト ミニトマト きゅうり

→ 北

体験農園(小牧園)講習会 平成24年度 特別作業 その1 (4/28~5/3)

※本資料はHPに掲載しません。
電子データを所望される方は申し出てください。

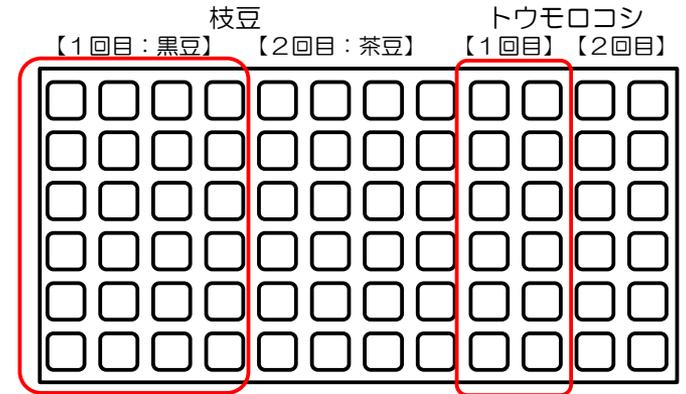
[割当区画] → 北



【トウモロコシ、枝豆の植え替え作業(1回目) 4/28~5/3】

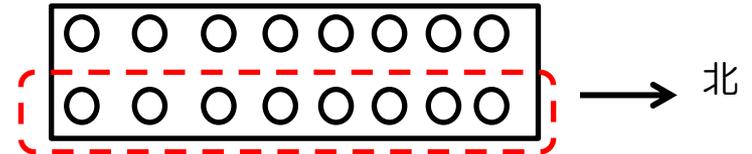
作業手順

- ①ビニールハウスから、ポットを持参する。
- ②ポットから発芽した苗を根ごと取り出し、該当場所に植え替える。
※発芽数が少ない場合、補植用の苗があるので、申し付けください。
- ③植え換えた苗に水をかける。
- ④植え替え後、ポットをビニールハウスに戻す。



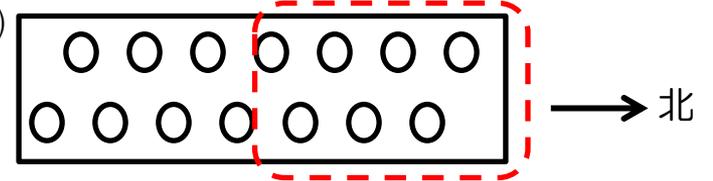
□ 枝豆 (1回目)

植替え時期
4/28~5/2



□ トウモロコシ (1回目)

植替え時期
4/28~5/2

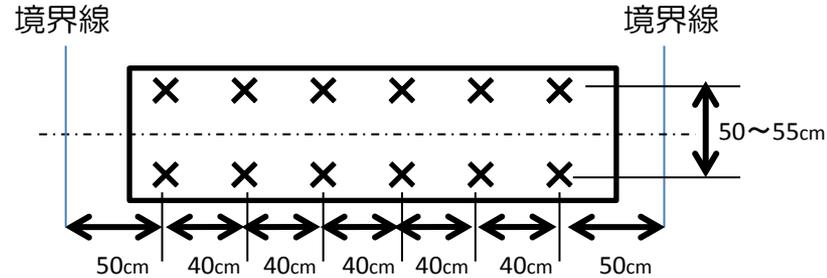


体験農園(小牧園)講習会 平成24年度 特別作業 その2 (4/28~5/12)

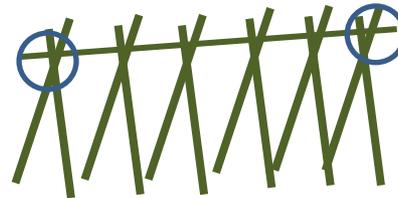
※本資料はHPに掲載しません。
電子データを所望される方は申し出てください。



- 【トマト支柱立てとミニトマト植付】
※銀マルチが引いてあることが前提です。
- ① 緑の支柱を13本用意する。
 - ② 支柱を立てる場所に指で印をつける

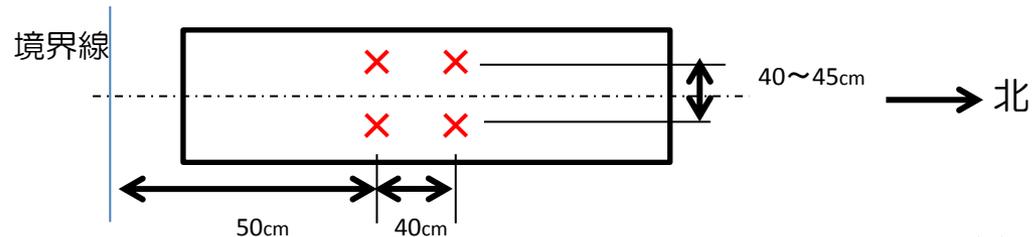


- ③ 支柱を組み立てる
※先行している区画の組み方を参考にしてください。



右図のように支柱を仮組し、上の支柱の高さと中心を合わせたのち、両端をひもで縛る。(O部)
次に内側の支柱を上の方の支柱と一緒にひもで縛る。

- ④ ミニトマトを植えつける
※やり方については、直接指示します。



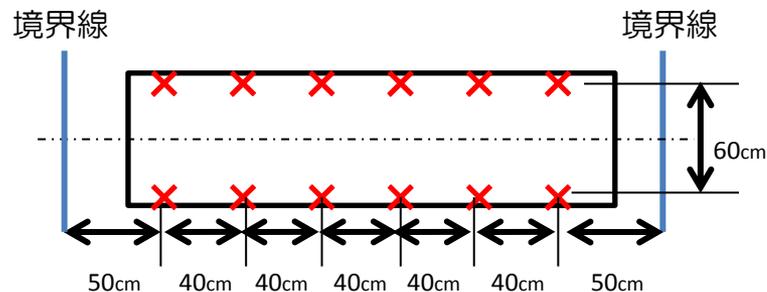
体験農園(小牧園)講習会 平成24年度 補足資料 (支柱立て)

【トマト/きゅうりの支柱立て作業】

当体験農園では、合掌(がっしょう)式支柱を採用しています。

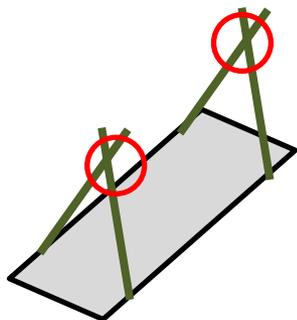
①支柱(13本)と麻紐を用意する。

②支柱を立てる箇所に印をつける
※マルチ引きに使用した間縄を使うと
きれいに立てられます。



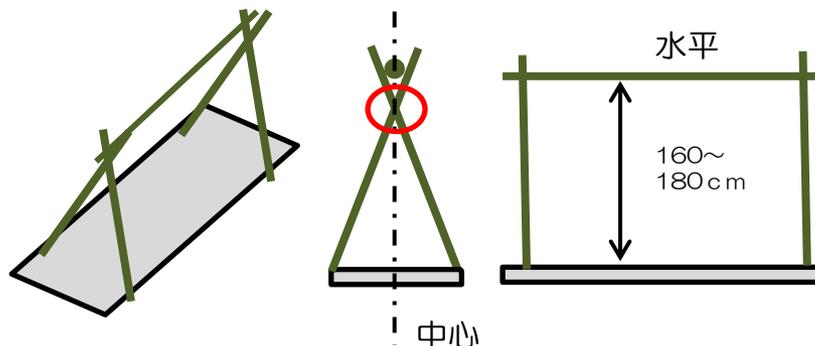
※本来の植付は50cm間隔ですが、ミニトマトの植付本数を増やすため、今回は40cm間隔としています。

③両端の支柱を下図のように交差させて立て、紐で仮止めする。

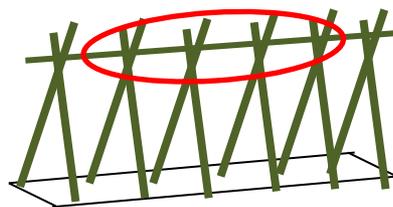


※本資料はHPに掲載しません。
電子データを所望される方は申し出てください。

④上方に支柱をのせ、マルチ中心位置、水平位置になるよう調整し、仮止めした紐を本締めする。
高さは各自結びやすい高さで結構です。



⑤残りの支柱を上方の支柱に合わせて、下図のように立てる。
立て終わったのち、3本の支柱をまとめて紐でしばる。



⑥手で支柱をゆらし、安定していることを確認する。

体験農園(小牧園)講習会 平成24年度 補足資料 (誘引、めかき)

【誘引、めかき】

• 誘引作業

トマトやキュウリを支柱に添わせる作業です。成長に合わせて何度も行います。



右図のように、麻紐を8の字にねじり、ゆったりめに支柱に縛ってください。

【理由】

成長に伴い、莖がだんだん大きくなりますが、きつく縛ってしまうと局所的に細くなり、折れやすくなってしまいます。

• めかき作業

トマト、キュウリ、ナスの枝を取り除き、葉が込み合ってしまうのを防ぎます。本作業を怠ると、病害虫を呼び込んだり、栄養が行きわたらずに収穫物が小さくなってしまいます。



作業は手袋を着用して行ってください

トマトは、主枝と側枝で『Y』の字になっているところから出ている枝を摘み取ります。

- 誘引、めかき作業はこの先ずっと続きます。昨年は園側の方で定期的に見回って行っていたのですが、今年は受講者側で積極的に行うようにしてください。来園時には必ず行ってください。

体験農園(小牧園)講習会 平成24年度 5回目 2012/5/12(土)、13(日)

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

[割当区画] → 北



【今回のポイント】

トマト・きゅうりの誘引、めかきをマスターしてください。

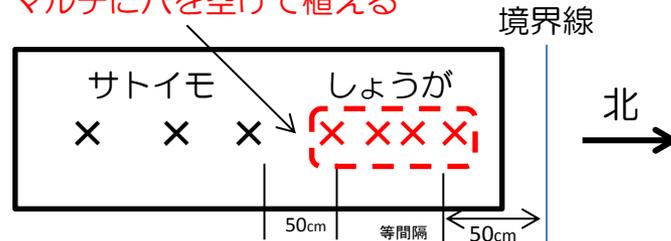
□全般

- ・除草、トマトのめかき ※毎回行ってください

□しょうが

- ・植ええ (4か所、各1個)

マルチに穴を空けて植える



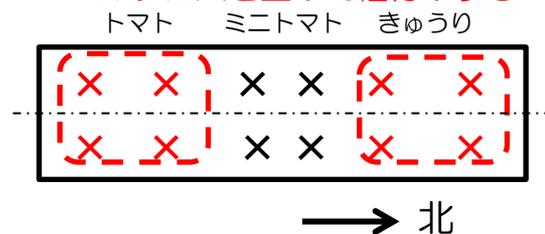
□ジャガイモ

- ・芽かき 生育のよい芽を2~3本残し、他を取り除く
- ・土寄せ

□トマト/きゅうりの植付け

- ・マルチに穴を空ける ※支柱から10cm程離す
- ・植付け
トマト×4
きゅうり×4
- ・植付後紐で縛る (誘引)

マルチに穴を空けて植付けする

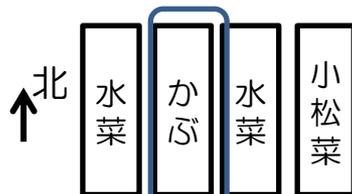


注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

[割当区画] → 北

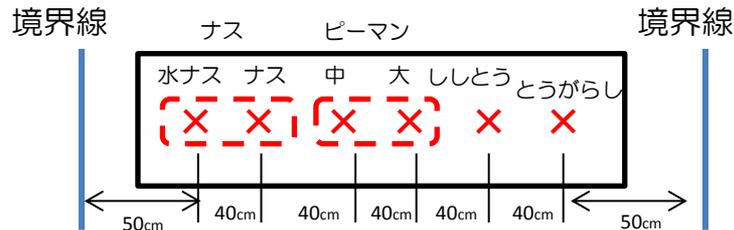


[共有区画(サービス区画)]



□かぶ
・間引き(2本にする)

□ナス/ししとう
/ピーマンの植付け
・マルチに穴を空ける
・各種苗を植付け
・植付け後、棒を立て、
紐で縛る



マルチに穴を空け、植付けする → 北

※本来の植付けは50cm間隔ですが、植付け本数を増やすため、今回は特別に40cm間隔としています。

□大根
・間引き(1~2本にする)

□その他
枝豆、トウモロコシ、いんげん等
発芽していなかったり、鳥害を受けているところは
再度植えなおしてください。

「品種の紹介」

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

特徴については、各社HPを確認ください

トマト

「大玉」

桃太郎8
/タキイ種苗



「中玉」

ルイ60
/タキイ種苗



レッドオーレ
/カネコ種苗



「ミニ」

イエローオーレ
/カネコ種苗



千果
/タキイ種苗



きゅうり

夏すずみ
/タキイ種苗



ナス

みずなす 築陽
/アタリヤ /タキイ種苗



ピーマン

デカチャンプ
/サカタのタネ



ししとう

ジャンボししとう
/アタリヤ



とうがらし

伏見甘長
/サカタのタネ



※写真は各メーカーのHPより引用

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります



【今回のポイント】

- ①今回より管理・収穫が主体となります。持ち帰り用の袋等を、毎回必ずお持ちください。
- ②エンサイ/枝豆/トウモロコシ/いんげんは、**今回で最後の補植**となります。今回の講習会終了後、処分します。

□全般

- ・除草、めかき(トマト/ナス)、誘引

□トウモロコシ

- ・補植
- ・支柱立て

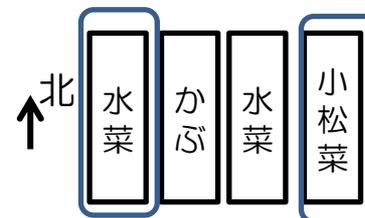
□エンサイ/枝豆/いんげん

- ・補植

□大根

- ・5/17に急遽消毒を行いました。今回は手を付けないでください。間引き(2本→1本)は5/24以降にお願いします。

【共有区画(サービス区画)】



□水菜(1回目)、小松菜

- ・収穫
- ※計画的に行ってください

次週(5/26、27)は講習会を行いませんが、水菜、小松菜の収穫期なので都合のよい時に来園して収穫してください。また、来園時、管理作業である除草/めかき/誘引は忘れずに行ってください。最新情報は適宜HPに掲載します。

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

【割当区画】 → 北



【今回のポイント】

来園時は収穫だけでなく、管理作業も忘れずをお願いします。
 トマト誘引について、再度指導いたします。

□全般

- ・除草、トマトのめかき、誘引(トマト/きゅうり/トウモロコシ等)

□各種収穫

- ・水菜、小松菜、かぶ
- ※適宜収穫ください 小松菜が残っている方は全て収穫ください

□支柱立て(Page2に要領を記載します)

- ・ナス/ししとう/とうがらし/ピーマン
- ・いんげん

□追肥 追肥の達人 (N18-P3-K9)

- 1つまみ/1株
- ・エンサイ ・トウモロコシ ・枝豆
 - ・トマト/きゅうり
 - ・ナス/ししとう/とうがらし/ピーマン
 - ・いんげん
- 多すぎないように注意してください。

【お願い】

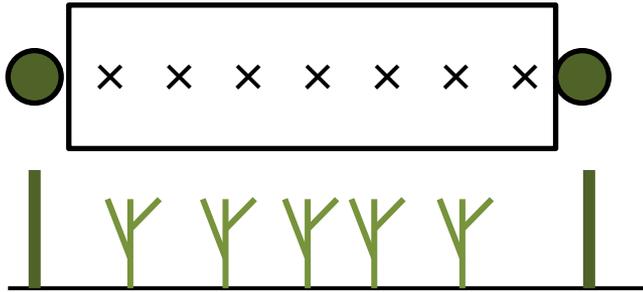
収穫する野菜が増え、持ち運びが面倒になるかと思いますが、農道内の自転車乗り入れは絶対にしないようにお願いします。農道は路面が不安定で、万が一自転車が倒れると、他区画の農作物を傷つけてしまう場合があります。ご面倒をかけますが、協力をお願いします。

【支柱立て作業】

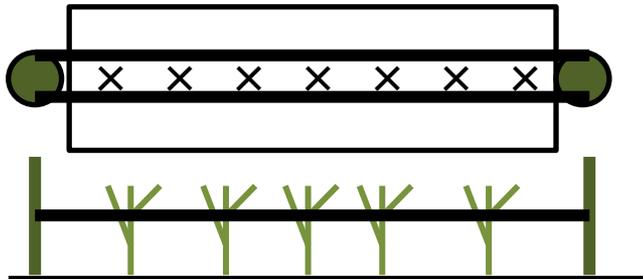
- ・ナス/ししとう/とうがらし/ピーマン
- ・いんげん

①支柱(74cm/2本)と黒ビニール紐を用意する。
※黒ビニール紐は、皆さんのコンテナに入っています。

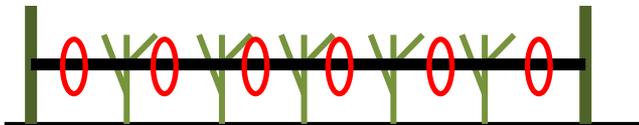
②マルチの両端に支柱を立てる(50cm位)



③一番小さい苗の高さに合わせ、2本のビニール紐を
両側から挟むようにして支柱に縛る



④金属支柱を外し、苗と苗の間を麻紐で縛る
金属支柱は元の場所に戻してください



注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

【講習会開始時間の変更に関して】

熱中症予防の観点から、第7回講習会から当面の間
講習会の開始時間を9:00に早めます。
※第7回は移行措置で、10:00にも説明を行います。

第8回以降は、説明は1回のみ(9:00~)とさせていただきますので、ご注意ください

第8回講習会

6/9、10 9:00~

第9回講習会

6/23、24 9:00~

第10回講習会

9月第一週? 9:00~

※第9回~10回の中に、人参植え作業があります。

GW中と同様、期間/時間帯を決めた集中対応と
なる予定です。詳細は追って連絡します。

**毎度のお願いとなりますが、集合時間は、
お守りいただけますようお願いいたします。**

農繁期に入るため、講習会日以外の日程の個別補講は
対応できなくなります。

集合研修は、春はあと2回、秋は6回程度です。

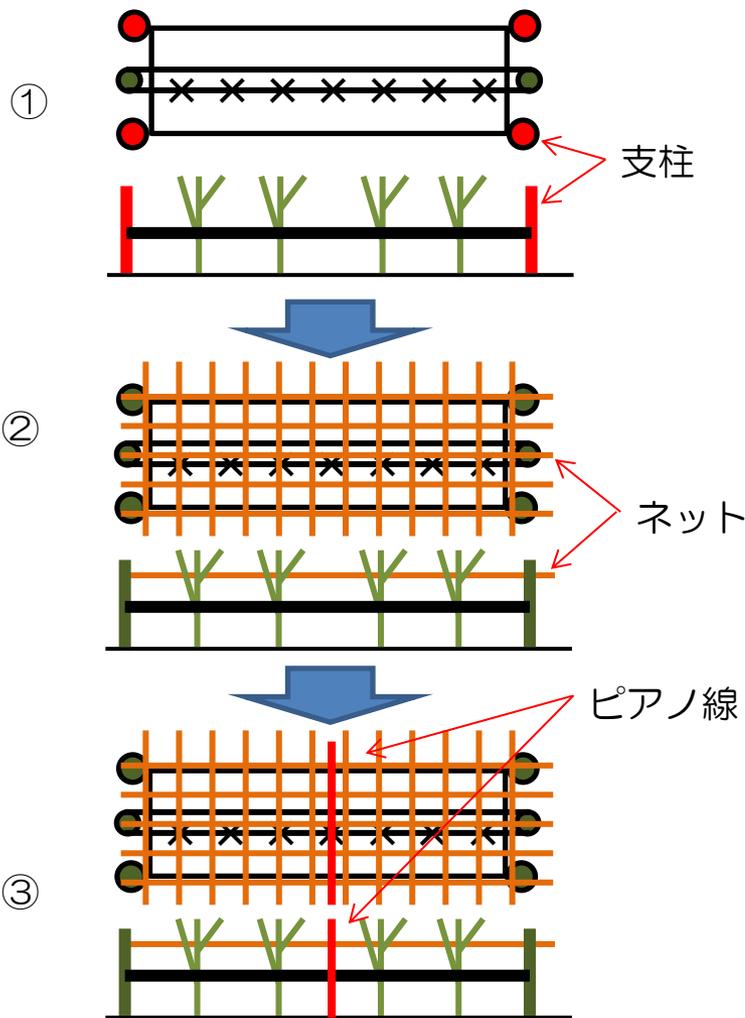
なるべく講習会の日程にご都合を合わせて
いただけますよう、ご協力をお願いいたします。

□ナス/ししとう/ピーマン/とうがらし

・ネット張り

- ①支柱(74cm)を4隅に立てます
- ②ネットを張り、支柱に麻紐で縛ります。
- ③中央部にピアノ線をアーチ状に設置し麻紐で縛ります。

※本資料は当日お配りしていません
必要な方はプリントアウトください



完成図

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

【割当区画】 → 北



【今回のポイント】

管理、収穫作業が中心です。次週(6/16,17)は講習は行いませんが、同じように管理、収穫作業をおこなってください。

□管理作業

- 除草
 - 区画差がはっきりと出ています。こまめに実施ください。
- ミニトマト、トマトのめかき
 - 第7回で再指導した観点で実施ください。
- 誘引
 - トマト、ミニトマト、きゅうり、トウモロコシ
成長に合わせて、適宜行ってください。
特にトウモロコシは成長に合わせて、結び直してください。
- いんげんの支柱立てがまだの方は実施ください。
- サトイモ/しょうがのマルチはがし
 - はがしたマルチは、農具置き場横のネットの中に入れてください

□各種収穫

- 水菜、かぶ、大根、ミニトマト、エンサイ
きゅうり、ナス等
- ※収穫情報は、HPに適宜掲載します。

【重要】第9回講習会(6/23、24)について

- ジャガイモは当日に全て収穫します。持ち帰り用の袋をお忘れなく
- ジャガイモ収穫→ネギ植えとハードな作業となります。また、ネギ植えは、説明会の受講が必須となりますので
「集合時間9：00を厳守ください！」

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります



【今回のポイント】

今回で春の講習は最後となり、管理・収穫期に入ります。週に一度を目途に来園くださるようお願いいたします。

□管理作業

- ・除草、トマトのめかき、誘引等

□ジャガイモ収穫 → ねぎ植付

- ・ジャガイモ収穫
- ・石灰(カルメイト) → 2杯
- ・化成肥料(野菜名人) → 1杯
- ・畝掘り
- ・苗の植付

施肥後よく耕してください。

やりかたは講習会にて説明します。

□各種収穫

- ・大根、いんげん、きゅうり、ナス、トマト
- ※共有区画の作物は全て収穫完了ください。
- ※大根は6月中の収穫をお願いします。

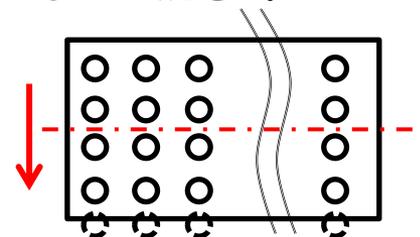
【大根収穫が完了された方向けの作業】

□人参(向陽2号)

- ・大根のマルチをはがす
- ・石灰(カルメイト) → 1杯
- ・化成肥料(野菜名人) → 1杯
- ・ネマトリン → 約40g(直接渡します)
- ・マルチ9515を引く
- 右図のように幅4穴分としてください。
- ・種まき 1穴4粒

※人参は水分が足りないと発芽しません、来園時には忘れず水を撒いてください。

※9515は幅方向5穴ですが、幅方向4穴分になるよう中心位置を少しずらしてひいてください。



「7月～8月の作業予定」



6月下旬の状態	7月～8月の作業	9月1日時点の状態
一部収穫可能	適宜収穫ください。モロヘイヤは、収穫可能になったらホームページ上でお知らせします。	そのまま (10月まで可)
植付済	成長に合わせて、畝上げを行ってください。	そのまま (生育中)
植付済	特にありません	そのまま (生育中)
植付済	収穫可能時期はホームページ上でお知らせします。収穫完了後は、マルチを外し、平らにならしておいてください。	8月中に収穫完了 してください
植付済	収穫可能時期はホームページ上でお知らせします。収穫完了後は、マルチを外し、平らにならしておいてください。	8月中に収穫完了 してください
収穫可	適宜収穫して下さい。 ただし、消毒情報に注意してください。	9月上旬まで 収穫可
収穫可	適宜収穫して下さい。 ただし、消毒情報に注意してください。	9月上旬まで 収穫可
収穫完了	6月末までに収穫完了させたのち、人参まきを行ってください。	そのまま (人参生育中)
一部収穫可	適宜収穫してください。収穫完了後は、マルチを外し、平らにならしておいてください。	8月中に収穫完了 してください

注1. 収穫時期、消毒情報は、掲示板もしくはHPを確認ください
注2. 除草などの管理は適宜行ってください

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

【お知らせ(その1)】

●講習会中断期間中(7月～8月)の作業の注意事項

基本的には、皆様のご都合の良い日時に来て作業を行っていただいで構いません。
ただし、以下の点に注意ください。

- ①講習会中断期間の連絡は「ホームページ」および「希望者へのメール連絡」にて行います。収穫情報、後述の消毒情報等は、こちらを確認してください。遠方の方で、ホームページを見れない方は、事前にお電話していただくことをお勧めします。
- ②なるべく週一度は除草/収穫に来るようにしてください。特にトマト/きゅうり/ナスについては、**間をあげすぎると収穫タイミング(食べ頃)を逃してしまうことがあります。**なお、枝豆、トウモロコシ等は収穫情報については、こちらからは「ホームページ」と「希望者へのメール」以外では発信しませんので、ご注意願います。
- ③夏場は午前中の早い時間、もしくは夕方に来られることを強くお勧めします。水分補給を忘れず、**健康に留意して**作業を行ってください。
- ④園主は大体は畑に出ておりますので、作業等についてご不明点等がありましたら、その都度声をかけてください。ただし、**夏場の日中(11:00～15:00)は、昼休憩等のためほとんど対応できません**ので、ご注意ください。
- ⑤自転車は**少しの時間であっても、必ず指定場所に駐輪**するようにしてください。
- ⑥除草した草、大根の枯葉、トウモロコシの茎、外したマルチ等は、それぞれ指定した場所に捨ててください。また、**支柱に使用した鉄棒等は必ず元の場所に返してください。**

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

【お知らせ(その2)】

⑦ナス/きゅうり/トマト/トウモロコシは、害虫の発生具合をみて、消毒を行う場合があります。(昨年は1回だけ行いました)

消毒後一定期間は収穫ができません。また、自然相手ということもあり、消毒日を予告することもできませんので、ご容赦ください。なお、消毒情報は「掲示板」と「ホームページ」でのみ発信します。

●秋の講習会日程について

秋の講習会日程については、決定次第ホームページ上に掲載します
また、秋の作付け予定表と日程表については8月中旬以降、来園された方にお渡しします。

現在のところ、第10回講習会は以下のように予定しております。

日時：9/1(土)、9/2(日) 9:00～

内容：ブロッコリー/カリフラワーの植付

注：本資料は配布しません
必要に応じ、ダウンロードしてください。

ネマトリンとは

線虫による被害を防止する農薬(土壌病害虫薬剤、殺線虫剤)
毒劇物に該当しないので、ホームセンターや通販でも購入可能

ネコブセンチュウとは (Yahoo百科事典引用)

土壌に寄生する線虫(ひも状の寄生虫)の1種、草や木を問わず広範囲の植物の根に寄生し、線虫の寄生部位の組織が膨れてこぶ状になるので「ネコブ」センチュウと呼ばれる
体長0.5ミリの細長い幼虫が根の表皮から侵入し、組織内に落ち着くとその場所で組織細胞を栄養に成長を続け、体長約1.5ミリの細長い雄成虫、または直径1ミリ内外の球形ないし洋ナシ形の雌成虫となる。雌は500~800個の卵を尾端のゼラチン質の袋に産み出す。寄主植物は、大量の幼虫の寄生で根がこぶだらけになり、根の機能低下で生育が遅れ、枯死することもある。



ネコブセンチュウによる被害例



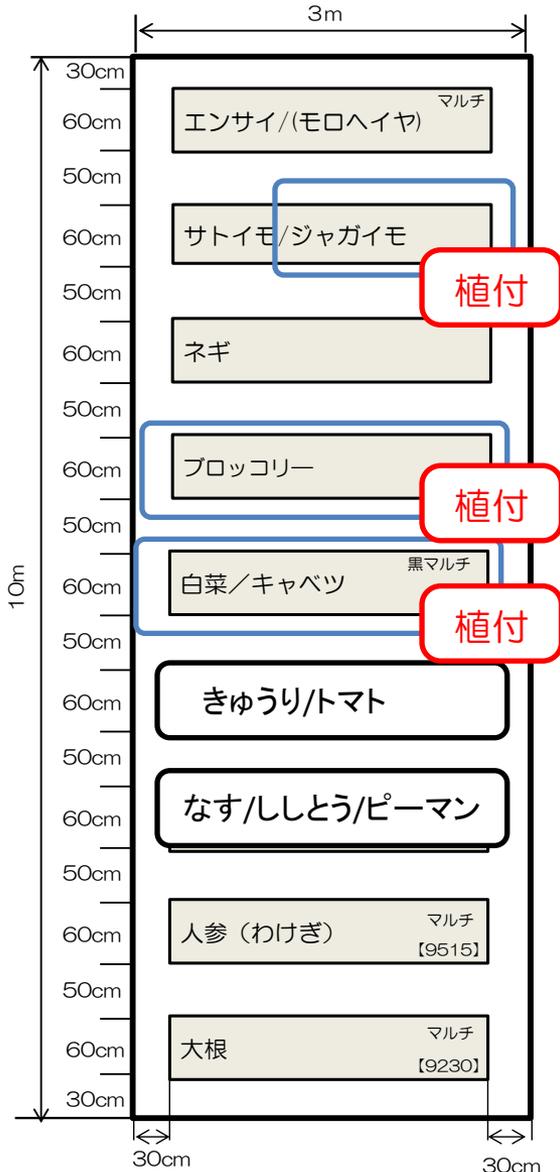
人参



注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

[割当区画]

→ 北



※天候不良により、当初の予定から大幅に変更となりました。
修正版をお渡しします。

□全般

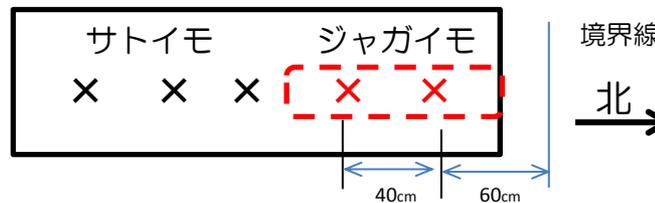
- ・除草、人参間引き(人参が出ないところは“わけぎ”を植えます)

□各種収穫

- ・トマト/きゅうり
→次週(9/8、9)撤収します
- ・ナス/ししとう/ピーマン
→9/17までに撤収ください 9月末まで可です
- ・エンサイ/モロヘイヤは、10月中旬位まで収穫可能です

□ジャガイモの植付け(ニシユタカ)

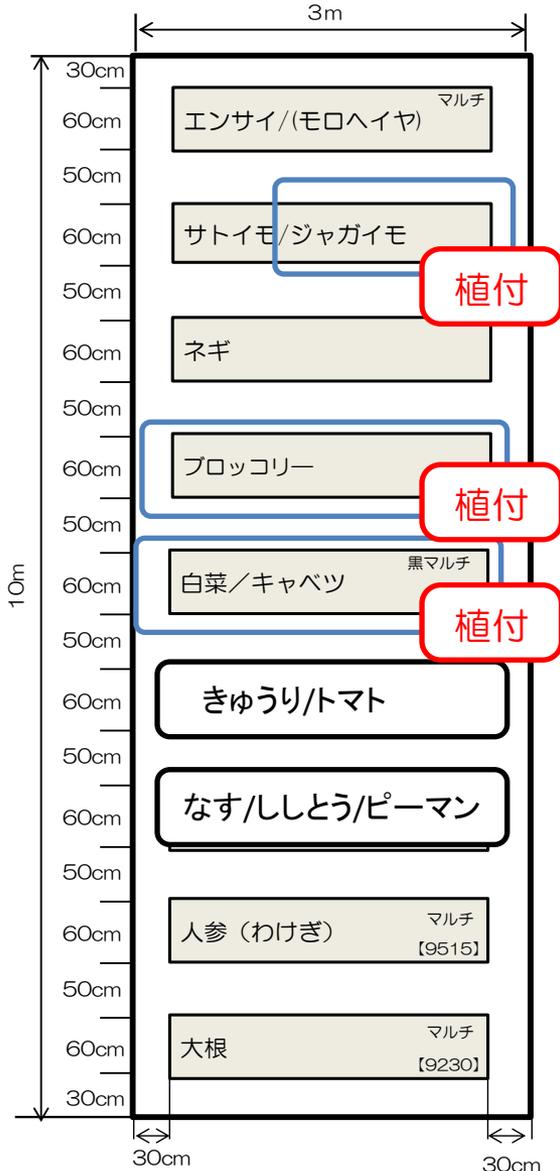
- ・種イモ切り(1/2)
- ・※芽があるところを残す
- ・植付け(30cm間隔)→×部



注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

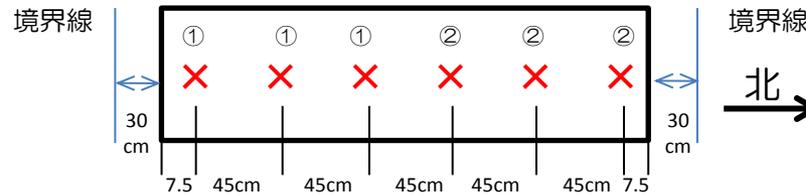
[割当区画]

→ 北



□ブロッコリーの植付

- 元肥 (アズミン、石灰、野菜名人 各1杯) → 施肥済
- ブロッコリーの苗を植える



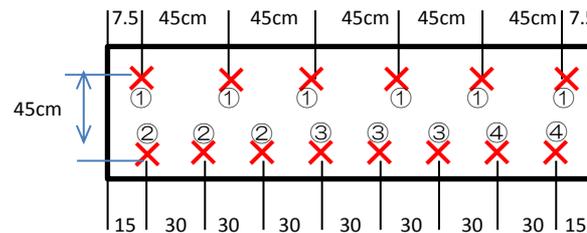
境界線

北 →

- ブロッコリー
- ①スティックセニョール × 3
- ②ピクセル × 3

□白菜/キャベツの植付

- 元肥 (アズミン、石灰、野菜名人 各1杯) → 施肥済
- 黒マルチをひく
- 黒マルチに穴をあけ、白菜、キャベツの苗を植える



白菜

北 →

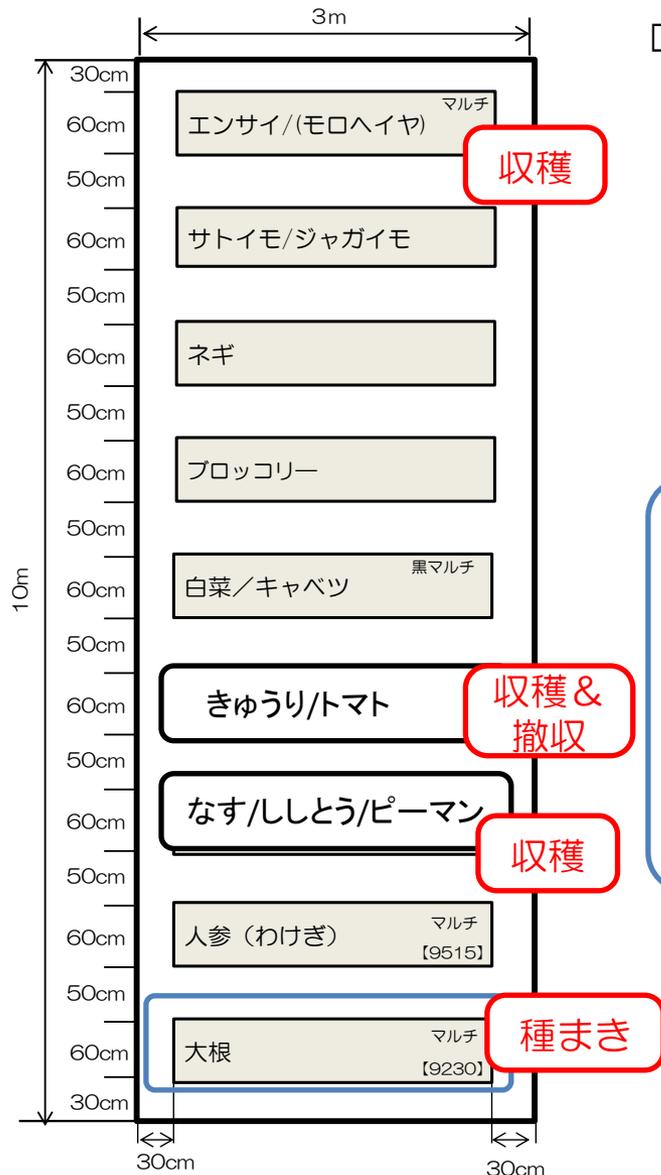
キャベツ

- 白菜
- ①オレンジクイーン × 6
- キャベツ
- ②金系201 × 3
- ③金春 × 3
- ④彩ひかり × 2

※白菜の種まきは第11回(9/8,9)に行います

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

[割当区画] → 北



□全般

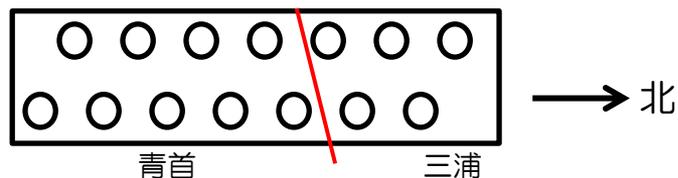
- ・除草、人参間引き(人参が出ないところは“わけぎ”を植えます)

□各種収穫

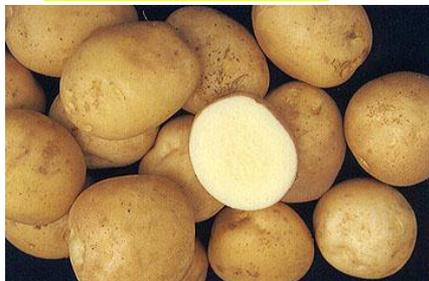
- ・トマト/きゅうりは、本日収穫後～9/17までに撤去願います。
- ・ナス/ししとう/ピーマンは9月末までに撤収願います。
※撤去後、ほうれん草等の葉物の種まきを行います。

□大根の種蒔き 青首(献夏青首)、三浦

- ※元肥は実施済(アズミン、石灰、野菜名人)
- ・マルチ9230をひく
- ・種まき(1穴4粒程度) ※青首8～10、三浦4～5



ニシユタカ



西南暖地に適し豊産性であることから「**ニシユタカ**」と命名され、長崎県で奨励品種に採用されている品種です。いもの肥大が早く収量が多いことから、昭和60年以降、特に春作マルチ栽培で急速に栽培が増加し、暖地で最も多く栽培されている品種となりました。北海道でも網走、空知、石狩地方などで移出用の採種栽培などに多く作付されています。**「新ジャガ」として出回っている大部分はこの品種です。**火の通りが遅く調理時に煮くずれしません。肉質は中間からやや粘質で、食感はやや硬く串で刺してもくずれない。調理後の肉色は黄～クリーム色で、放熱後の黒変も無く美しい。**煮くずれしないので、長時間加熱するカレーやシチューなどの煮込み料理やおでんの具などに適しています。**(引用：日本いも類研究会HP)

三浦大根



練馬大根から改良されました。練馬よりも中央部がふくらんだ形になっています。このため**収穫時に抜き難く、高齢化が進む農家から敬遠される原因**となっております(通常2.5～3kg、ときに5kg超、長さは約60cmと特大となります)。11月と12月に収穫。青首大根の普及とともに激減してしまいました。かつては三浦半島の特産でしたが、三浦半島でも79年10月の台風によって三浦大根が壊滅的な被害を受けたのを切っ掛けに、ほとんどの畑で青首に転換してしまいました。辛味が強いので大根おろしにむきます。また、**正月の大根ナマスは三浦に限ります。**青首で作ると柔らかすぎてべちゃべちゃしてしまいます。最近では少しずつ復活しています。

出展：食材事典美味探求：上田 泰久氏 <http://www2.odn.ne.jp/shokuzai/Daikon.htm>
写真：サカタのタネHP

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

[割当区画] → 北



□全般

- ・除草、人参間引き
- ・大根、白菜が発芽していない方は、再度種まきをお願いします。

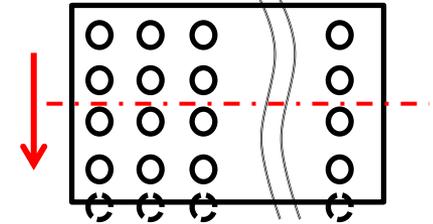
□各種収穫

- ・エンサイ/モロヘイヤ
- ・ナス/ししとう/ピーマンは**9月末～10月頭位**に撤収願います。

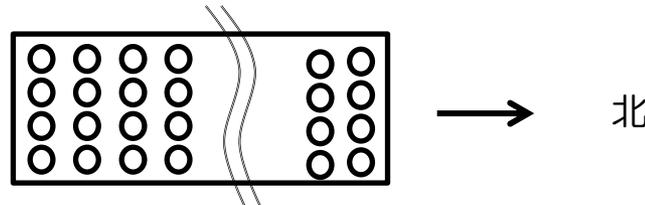
□カブ/赤カブのたねまき

- ・石灰(カルメイト)→1杯
- ・化成肥料(野菜名人) →1杯
- ・マルチ9515を引く
→人参植えと同様に、幅4穴分としてください。(右図参照)

※9515は幅方向5穴ですが、幅方向4穴分になるよう中心位置を少しずらしてひいてください。



- ・種まき(1穴5粒程度、割合は当日の指示に従ってください)



注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

[割当区画] → 北

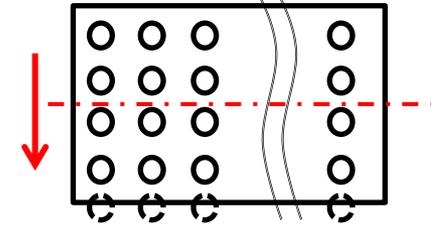


本作業は、ナス/ししとう/ピーマンの撤収後行ってください
 ※10月上旬までにおこなうようにしてください。

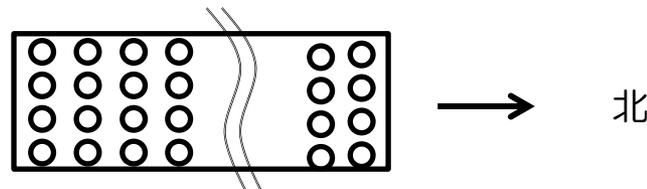
□ホウレンソウ/小松菜/水菜/春菊の種まき

- 石灰(カルメイト) → 1杯
- 化成肥料(野菜名人) → 1杯
- マルチ9515を引く
 → 人参植えと同様に、幅4穴分としてください。
 (右図参照)

※9515は幅方向5穴ですが、幅方向4穴分になるよう中心位置を少しずらしてひいてください。



- 種まき(1穴5粒程度、割合は1 : 1 : 1 : 1目安)



ホウレンソウ | 小松菜 | 水菜 | 春菊の順

【諸連絡】

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

●収穫期(10月～1月)の作業の注意事項

基本的には、皆様のご都合の良い日時に来て作業を行っていただいで構いません。ただし、以下の点に注意ください。

- ①収穫期の諸連絡は「**ホームページ**」および「**希望者へのメール連絡**」にて行います。収穫情報、後述の消毒情報等は、こちらを確認してください。遠方の方で、ホームページを見れない方は、事前に電話確認していただくことをお勧めします。
- ②作業等についてご不明点等がありましたら、その都度声をかけてください。
- ③自転車は**短時間であっても、必ず指定場所に駐輪**するようにしてください。
- ④除草した草、枯葉、外したマルチ等は、それぞれ指定した場所に捨ててください。
- ⑤人参、白菜、キャベツ等は、害虫の発生具合をみて、消毒を行う場合があります。**消毒後一定期間は収穫ができません**。また、自然相手ということもあり、消毒日を予告することもできませんので、ご容赦ください。なお、消毒情報は「掲示板」と「ホームページ」でのみ発信します

●収穫完了時期について

- ・農園の契約満了日は**2013年2月11日**となっております。**2013年1月末を目標に、収穫完了**するようにしてください。
- ・収穫完了後は、マルチを全てはがし、茎などのごみを撤去し、**何も無い状態に戻して**いただけますようお願いいたします。

※本件、年末が近づいたら再度ご連絡いたします。

京千舞 (大カブ)



- 根こぶ病に強く、作りやすい

根こぶ病に安定して強く、生育旺盛で作りやすい。早太りでス入りの遅い大カブ専用品種。

- 千枚漬に最適の肉質。肌は純白で美しい

肉質は緻密(ちみつ)で甘みに富み、繊維が少なく歯切れがよいので千枚漬に最適。

- 玉は腰高によくそろう

腰高で厚みのある玉に仕上がり、収量性にすぐれ秀品率が高い。9月上旬まきの栽培では、播種後約70日で根径12cm、根重1kg程度となり、さらに日を置けば2kg以上に太る。

耐病ひかり(中カブ)



- 強勢で太りが早く、小中~中大カブまで収穫できる、作りやすい万能種。

- 形状は早くから整い、厚みのある扁円でそろいがよい。

- 肌はツヤがあり、ス入りや根割れの心配が少ない。

恵星紅 (赤カブ)



「ケイセイベニ」

- 大野紅カブ系の一代交配で、病気に強く作りやすいカブ

- 葉はよく立って伸びがよく、葉柄も赤くなります。

- 根は平型偏円で尻づまりよくまとまり、肉質はち密でやわらかく、漬け物に適す